

平成24年度
社会福祉法人札幌肢体不自由福社会
事業報告書

平成24年度 事業実績報告

社会福祉法人 札幌肢体不自由福祉会

社会福祉法人札幌肢体不自由福祉会は平成23年に設立し、第2種社会福祉事業として生活介護事業所「O・H・G（おはぎ）」、居宅介護（重度訪問介護）事業所「ヘルパーステーションDAI-ふく」、及び公益事業として地域共同作業所「ふれあいセンター823」、「ふれあいセンター翔」を運営してきております。

法人の基本方針及び運営理念に基づいて実施した平成24年度事業の結果について報告します。

1 法人の基本方針

誰もが人として認められ、幸せに生きることができる社会の実現をめざすとともに、地域との結びつきを重視し、利用者及びその家族が地域住民との交流の機会が確保されるよう努めます。

また、事業運営にあたっては、常に福祉サービスを受ける側の立場に立って、個の尊重及び自立支援を基礎に、利用者本位の良質かつ適切な福祉サービスを提供します。

2 運営理念

- (1) 重度障がい児者の尊厳を守るとともに、「利用者本位の運営」を行います。
- (2) 地域の方々との交流を深め、「社会参加の促進」を図ります。
- (3) 重度障がい児者に対する「日常生活の支援」を行います。
- (4) 一般就労が困難な重度障がい児者に対し、「創作的活動の機会」を提供します。
- (5) 当事者団体だからこそできる「思いを形」にします。

【実施事業】

事業名	施設区分	施設種別・施設名	定員
第二種 社会福 祉事業	障害福祉サービス	生活介護事業 O・H・G（おはぎ）	20名
	障害福祉サービス	居宅介護事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	
	障害福祉サービス	重度訪問介護事業 ヘルパーステーション「DAI-ふく」	
公益 事業	地域共同作業所	小規模作業所 ふれあいセンター 823	10名
	地域共同作業所	小規模作業所 ふれあいセンター 翔	10名

3 役員の状況（定数：理事6名、監事2名）改選：平成25年3月24日（任期：平成27年3月24日まで）

役職名	氏名	就任年月日	区分	備考
理事長	山内 まゆみ	平成23年3月25日	重任	無職、NPO法人理事、評議員
理事	瀧 三紀子	平成23年3月25日	重任	無職、評議員
理事	松坂 優	平成23年3月25日	重任	社会福祉法人理事長、評議員
理事	朝田 志津子	平成23年3月25日	重任	無職、民生児童委員、評議員
理事	落合 正子	平成23年11月28日	重任	NPO法人理事長、評議員
理事	菊地 ひとみ	平成23年8月24日	重任	施設長、評議員
監事	小野 雅美	平成23年3月25日	重任	社会福祉法人職員
監事	細川 道子	平成23年3月25日	重任	税理士

(役員は平成25年3月31日現在)

4 評議員の状況 (定数 13名) 改選：平成25年3月24日 (任期：平成27年3月24日まで)

役職名	氏名	就任年月日	区分	備考
評議員	山内 まゆみ	平成23年3月25日	重任	無職、NPO法人理事、理事長
評議員	瀧 三紀子	平成23年3月25日	重任	無職、理事
評議員	松坂 優	平成23年3月25日	重任	社会福祉法人理事長、理事
評議員	朝田 志津子	平成23年3月25日	重任	無職、民生児童委員、理事
評議員	落合 正子	平成23年11月28日	重任	NPO法人理事長、理事
評議員	菊地 ひとみ	平成23年8月24日	重任	施設長、理事
評議員	佐京 正義	平成23年3月25日	重任	無職、NPO法人理事
評議員	亀山 宗永	平成23年3月25日	退任	平成25年3月24日任期満了で退任
評議員	宝福 豊	平成25年3月25日	新任	会社員
評議員	吉田 貫一	平成23年3月25日	重任	会社代表取締役
評議員	我妻 武	平成23年3月25日	重任	NPO法人理事長、社会福祉法人理事
評議員	花田 貴博	平成23年3月25日	重任	有限会社代表
評議員	徳永 瑞穂	平成23年3月25日	重任	NPO法人理事
評議員	渡辺 あや子	平成23年8月24日	重任	NPO法人会長

(評議員は平成25年3月31日現在)

5 理事会の開催状況

回数	開催月日	出席者数	議題等
第1回	平成24年5月22日	理事 6名 監事 2名	①平成23年度事業報告、②平成23年度決算報告 ③監事報告、④事業所運営規程の一部改正
第2回	平成24年10月30日	理事 5名 監事 2名	①第三者委員の選任、②基本財産の処分 ③平成24年度(上期)事業報告 ④就業規則及び給与規程の変更→差戻し ⑤札幌市の法人監査報告、⑥監事監査報告 ⑦避難用スロープ設置工事
第3回	平成24年12月13日	理事 4名 監事 2名	①平成24年度補正予算 ②避難用スロープ設置工事の請負契約締結報告 ③札幌市の監査指導に対する改善報告
第4回	平成25年2月22日	理事 4名 監事 0名	①就業規則及び給与規程の一部変更(再提出) ②準職員就業規則及び給与規程の一部変更 ③非常勤職員就業規則の一部変更 ④基本財産処分承認 ⑤避難用スロープ設置工事の完了
第5回	平成25年3月19日	理事 4名 監事 1名	①評議員の選任 ②第3回監事監査報告
第6回	平成25年3月19日	理事 5名 監事 1名	①次期理事長の互選、②理事長職務代理者の選任 ③定款の一部変更 ④平成25年度事業計画、予算

6 評議員会の開催状況

回数	開催月日	出席者数	議 題 等
第1回	平成24年5月22日	評議員 9名 監 事 2名	①平成23年度事業報告、②平成23年度決算報告 ③監事報告、④事業所運営規程の一部改正
第2回	平成24年10月30日	評議員 9名 監 事 2名	①第三者委員の選任、②基本財産の処分 ③平成24年度(上期)事業報告 ④就業規則及び給与規程の変更→差戻し ⑤札幌市の法人監査報告、⑥監事監査報告 ⑦避難用スロープ設置工事
第3回	平成24年12月13日	評議員 7名 監 事 2名	①平成24年度補正予算 ②避難用スロープ設置工事の請負契約締結報告 ③札幌市の監査指導に対する改善報告
第4回	平成25年2月22日	評議員10名 監 事 0名	①就業規則及び給与規程の一部変更(再提出) ②準職員就業規則及び給与規程の一部変更 ③非常勤職員就業規則の一部変更 ④基本財産処分承認 ⑤避難用スロープ設置工事の完了
第5回	平成25年3月19日	評議員 8名 監 事 1名	①理事・監事の選任、②第3回監事監査報告 ③定款の一部変更 ④平成25年度事業計画、予算

7 監事監査の状況

回 数	開催月日	監 査 内 容	意 見
第1回	平成24年5月7日	<決算監査> ・法人一般事務監査(小野監事) ①理事の業務執行状況 ②財産管理状況 ③法人及び施設の業務執行状況 ④施設の運営状況	・概ね適正 職員研修計画・個人情報保護規程の作成、避難訓練の実施
	平成24年5月8日 及び5月14日	・会計事務監査(細川監事) ①法人及び施設の会計状況	・概ね適正 火災通報装置・外部避難経路の整備、緊急連絡マニュアルの作成
第2回	平成24年9月6日	<札幌市の法人指導監査に向けた事前監事監査及び第1・四半期監事監査> (細川監事) ①札幌市の法人指導監査 ②事業者の現地指導監査	・理事の業務執行、法人の財産管理、運営状況は適正 ・法人及び施設の業務執行、会計状況は概ね適正
	平成24年9月11日	<札幌市の法人指導監査立会> (細川監事)	

第3回	平成24年10月16日	<第2・四半期監事監査> ・法人一般事務監査（小野監事） ①理事の業務執行状況 ②財産管理状況 ③法人及び施設の業務執行状況 ④施設の運営状況	・理事の業務執行は適正、その他は概ね適正 避難訓練の実施、個人情報保護規程の整備
	平成24年10月11日	・会計事務監査（細川監事） ①法人及び施設の会計状況	・概ね適正 未収金の管理
第4回	平成25年2月19日	<第3・四半期監事監査> ・法人一般事務監査（細川監事） ①理事の業務執行状況 ②財産管理状況 ③法人及び施設の業務執行状況 ④施設の運営状況 ・会計事務監査（細川監事） ①法人及び施設の会計状況	・概ね適正 個人情報保護規程の整備、定款変更登記事務の速やかな処理、流動性貯金の固定性への振替え

8 第三者委員の状況（定数：2名）改選：平成25年3月24日（任期：平成27年3月24日まで）

苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や状況に配慮した適切な対応を図るために設置。なお、今年度第三者委員が対応した苦情処理案件は0件。

(1) 第三者委員

氏名	就任年月日	区分	備考
小野 雅 美	平成23年3月25日	重任	社会福祉法人職員、当法人監事
中 村 康 子	平成24年10月31日	重任	大学非常勤講師、

（第三者委員は平成25年3月31日現在）

(2) 委員会の開催

第1回委員会【平成24年12月6日】委員2名出席、理事長、施設長、事務局長

案件

①当法人運営規程、苦情処理規程

②平成24年度(上期)事業報告

③意見交換（主な意見は次のとおり）

- ・利用者、保護者に対する第三者委員（委員紹介、委員の位置づけなど）の周知が必要
- ・苦情受付の「窓口」（担当者）のPR→責任者だけでなく担当者の周知も必要
- ・「窓口」は“なんでも受ける”姿勢と“話しやすい”対応が重要
- ・情報提供に関するマニュアルの作成
- ・意見、要望、及び苦情などが提出された際の“記録”と日常における利用者・保護者との“コミュニケーション”が大切

9 運営会議の開催

定期的に運営会議を開催。月次決算を基に経営状況の点検を行うとともに、事業運営上の課題等を把握・検討し、事業経営の改善と運営の円滑化を図るために実施。

開催月日	出席者	協議事項等
平成24年4月27日	理事長 施設長 事務局長	①平成23年度事業報告、決算報告 ②監事監査日程等 ③第1回理事会・評議員会日程および議案
平成24年6月1日	理事長 施設長 事務局長	①平成24年度体制 ②職員募集 ③送迎車両体制
平成24年7月30日	理事長 施設長 事務局長	①月次(6月分)決算報告 ②事務分掌、経理事務及び小口現金の取扱い ③職員の募集
平成24年8月30日	理事長 施設長 事務局長	①月次(7月分)決算報告及び9月の日程確認 ②札幌市の法人指導監査準備 ③職員募集(新卒者及び随時) ④就業規則及び給与規程見直し
平成24年9月28日	理事長 施設長 事務局長	①月次(8月分)決算報告及び10月の日程確認 ②札幌市の法人指導監査及び監事監査結果 ③第2回理事会・評議員会への提案議件及び報告 ④定款変更及び補正予算に係る対応 ⑤ふれあいフェスタの対応
平成24年10月30日	理事長 施設長 事務局長	①月次(9月分)決算報告及び11月の日程確認 ②札幌市の指導監査及び監事監査指摘事項の対応状況
平成24年11月27日	理事長 施設長 事務局長	①月次(10月分)決算報告及び12月の日程確認 ②第3回理事会・評議員会への提案議件及び報告 ③職員の募集
平成24年12月27日	理事長 施設長 事務局長	①月次(11月分)決算報告及び1月の日程確認 ②避難スロープ設置工事の進捗状況及び竣工検査日程 ③年末年始の対応
平成25年1月7日	理事長 施設長 事務局長	①今後の利用状況、及び事業の検討 ②職員体制、送迎車両の整備 ③新年度事業、予算 ④第4回理事会・評議員会の日程及び提案議件
平成25年1月24日	理事長 施設長 事務局長	①月次(12月分)決算報告 ②2月の日程 ③新年度事業及び職員体制

平成25年2月15日	理事長 施設長 事務局長	①月次(1月分)決算報告及び3月の日程確認 ②第4回理事会・評議員会への提案議件及び報告 ③役員・評議員の改選対応 ④第5回理事会・評議員会の日程及び提案議件 ⑤新年度の各事業所及び職員の体制
平成25年3月29日	理事長 施設長 事務局長	①月次(2月分)決算報告及び4月の日程確認 ②新年度の運営方針及び事業計画、体制 ③当面する諸課題

10 リーダー会議、スタッフ会議の開催

(1) リーダー会議

施設長と各所属（事務局を除く）のリーダーを中心に、状況に応じて看護職、送迎担当チーフも加わって、毎月第3木曜日に開催。

各所属の状況、及びスタッフ会議に向けた案件の確認を行うとともに、サービス提供時の課題や事故再発防止対策の検討、利用者の処遇及び事業所の運営上重要な事項の連絡を行うことで、所属間の連携と情報の共有化を図っている。

(2) スタッフ会議

事務局職員を除く全職員を対象に、毎月第4月曜日に開催。

行事、連絡事項の伝達のほか、利用者の処遇や行事・送迎・入浴などサービス提供に関する課題の検討を行うとともに、職員の勤務体制並びに事業所内の衛生保持に関することなどについて検討している。また、外部研修の報告、及びヒヤリハット内容の報告による事例等の共有で、技術の向上や事故予防意識を醸成し、再発防止に向けた改善策について話し合いを行うことで、各利用者の現状と活動上の課題等を把握し、職員間での現状認識の統一及び知識、技術の共有化を図っている。

11 職員の配置状況

※()は兼務職員

所 属	職 種	前年度	4月	増	減	3月	備 考
事 務 局	正職員	1	1	1	▲1	1	事務局長
	常勤臨時職員	1	1	1	0	2	
	非常勤臨時職員	0	0	0	0	0	
	計	2	2	2	▲1	3	
O・H・G (おはぎ)	正職員	3	3	3	▲1	5	含施設長
	常勤臨時職員	(1)3	2	(2)2	▲3	(2)1	
	非常勤臨時職員	(1)10	10	5	▲1	14	
	計	(2)16	15	(2)10	▲5	(2)20	
DAI-ふく	正職員	(1)1	(1)1	(2)0	0	(3)1	
	常勤臨時職員	0	(1)0	(2)0	(▲2)0	(1)0	
	非常勤臨時職員	(2)0	(2)0	(1)0	0	(3)0	
	計	(3)1	(4)1	(5)0	(▲2)	(7)1	
ふれあいセンター 823	正職員	1	1	0	0	1	
	常勤臨時職員	1	1	1	▲1	1	
	非常勤臨時職員	(1)3	(1)3	(2)2	0	(3)5	
	計	(1)5	(1)5	(2)3	▲1	(3)7	
ふれあいセンター 翔	正職員	0	0	0	0	0	
	常勤臨時職員	0	0	0	0	0	
	非常勤臨時職員	3	3	(1)0	▲1	(1)2	
	計	3	3	(1)0	▲1	(1)2	
法人全体	正職員	(1)6	(1)6	(4)4	▲2	(3)8	
	常勤臨時職員	(1)5	(1)4	(2)4	(▲2)▲4	(3)4	
	非常勤臨時職員	(2)16	(3)16	(4)7	▲2	(7)21	
	合 計	(4)27	(5)26	(10)15	(▲2)▲8	(13)33	

12 職員研修の状況

【内部研修】

研 修 名	開催月日	開催場所	講 師	参加数
福祉現場の職員として求められるもの	5月12日(土)	O・H・G (おはぎ)	毎日新聞論説委員 野澤 和弘	17名
映画「普通に生きる」鑑賞	7月5日(月)	エルプラザ		15名
障がい者虐待防止法について	1月19日(土)	O・H・G (おはぎ)	札幌市社会福祉協議会 相談係担当係長 大能	18名

【外部研修】

研修名	開催月日	開催場所	講師	参加数
高次脳機能障害事例検討会（第1回）	5月11日（金）	北大学術交流会館	北大リハビリテーション部	2名
個別支援計画事業者研修会	6月14日（木） 7月24日（火）	身体障害者福祉センター	NPO 法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク	2名
高次脳機能障害事例検討会（第2回）	9月13日（木）	北大学術交流会館	北大リハビリテーション部	2名
北海道地域福祉推進フォーラム	10月8日（月）	札幌プリンスホテル	北海道地域福祉推進フォーラム実行委員会	1名
障がい者への虐待防止を考えるシンポジウム	10月15日（月）	札幌エルプラザ	札幌市、社会福祉法人札幌市社会福祉協議会	1名
社会福祉法人・社会福祉施設経理取扱実務者研修	11月1日（木）	東京ドームホテル	社会福祉法人北海道社会福祉協議会	1名
苦情解決システム研修会	11月1日（土） 2日（金）	かでの2・7	北海道福祉サービス運営適正化委員会	1名
第2回障がい者虐待防止・権利擁護研修会	11月6日（火）	小樽市経済センター	北海道	2名
障害者自立支援法及び児童福祉法に基づく集団指導	11月15日（木）	かでの2・7	札幌市	2名
“当事者が語る発達障がい” 専門家向け研修	11月16日（金）	WEST19	社会福祉法人はるにれの里 発達支援室 なつつ	4名
石狩ネット肢体不自由部門講演会	12月5日（水）	札幌市立豊成養護学校	石狩管内特別支援教育ネットワーク連絡協議会	1名
障がいに関する理解促進のための講演会	12月14日（金）	札幌エルプラザ	札幌市	2名
社会福祉法人財務会計セミナー	1月16日（水）	かでの2・7	税理士法人さくら総合会計	1名
居宅介護事業所管理者研修	1月22日（火）	WEST19	札幌市	2名
社会福祉法人経営実務セミナー	2月6日（水）	東京ドームホテル	社会福祉法人北海道社会福祉協議会	1名
重症心身障がい児・者に関する研修	2月28日（木）	かでの2・7	日本重症児福祉協会北海道ブロック看護部長会	1名
たいへん障がいの重い人たちがすすめる共生のまちづくり	3月16日（土）	あいおいニッセイ同和損保札幌千代田ビル	NPO 法人ホップ障害者地域生活支援センター	1名
介護者支援研修会「重症児者と障害者虐待防止法」	3月17日（日）	かでの2・7	札幌地区重症心身障害児（者）を守る会	3名
さっされん研修会「地域における自立支援」	3月23日（土）	福山南3条ビル	特定非営利活動法人さっされん	1名

【個別面談】

実施期間	対象職員
6月22日～10月9日	全職員

【新人研修】

実施期間	対象職員
6月22日～10月9日	8名（森山、高橋（和）、野呂、木上、小出、成田、清野、藤元）
12月～3月25日	5名（山本、木之内、平山、牧野、秋山）

- ※内部研修、外部研修参加後には、報告書を提出しスタッフ会議などで内容を報告。
- ※個別面談は、理事長と施設長による。
- ※新人研修は、該当職員の個別面談時に実施。内容は、当法人の運営方針の理解、職員としての倫理、接遇などについて。

13 監査、運営指導等

(1) 札幌市による社会福祉法人の指導監査及び障害福祉サービス事業者等の実地指導

- ・ 監査実施日：平成24年9月11日(火)
- ・ 監査担当者：札幌市保健福祉局 監査指導課(2名)、障がい者福祉課(2名)
- ・ 対象事業等：①指導監査～平成23年度の法人認可、資産、登記、規程、人事、経理、決算、監事、庶務関係の調書、平成24年度予算及び事業計画、給与台帳
②実地指導～生活介護事業O・H・G(おはぎ)及び居宅介護事業ヘルパーセッションDAI-ふくの人事管理、施設・備品、利用者説明及び契約、サービス提供、請求及び利用者負担額、衛生関係、緊急時対応、苦情・事故処理、各種届出等
- ・ 監査結果等：①指導監査～口頭指導事項3件、現地指導事項3件
②実地指導～指導事項なし
- ・ 改善状況等：口頭指導事項(3件)に対する報告→平成25年1月21日付で札幌市に報告

口 頭 指 導 事 項	改善状況又は今後の方針
1 資産総額の変更登記は、事業年度終了後2か月以内に行うこと。	平成23年度決算に基づく資産総額の変更登記が6月に行われていた。 変更登記については、事前に変更登記の準備を進め、決算承認後速やかに登記の変更を行うものとする。
2 小口現金について、経理規程で定める上限額を超えて保管しないこと。 また、月末に現金と帳簿を照合した際は、帳簿に出納職員及び会計責任者の確認印を押印すること。	上限額を超えて保管していたことについては、当法人の「小口現金取扱要領」に基づき、日々の小口現金残高確認を行い、上限額の管理を行うこととする。 また、帳簿の確認印の押印については、監査後速やかに、小口現金出納帳に出納職員及び会計責任者の確認印を押印するよう、事務処理の見直しを行う。
3 職員の勤務時間について、現行の勤務体制では週定労働時間(1か月を平均して1週40時間)が守られていない例が見られるので是正すること。	職員の勤務時間については、週定労働時間に抵触しないよう「社会福祉法人札幌肢体不自由福祉会就業規則」を本年度3月までに変更を行う。

14 各事業運営の状況

(1) 利用者の状況（平成25年3月末現在）

①生活介護事業所定員 20名

*生活介護事業所契約者数 42名（男性 18名、女性 24名）

10代	20代	30代	40代	50代	60代
3名 (男3・女0)	25名 (男11・女14)	6名 (男3・女3)	6名 (男1・女5)	0名	2名 (男0・女2)

*生活介護事業所契約者障害程度区分（平均障害程度区分4.7）

区分	2	3	4	5	6
人数	1名	5名	4名	5名	27名

②小規模作業所ふれあいセンター823定員 10名

小規模作業所ふれあいセンター翔定員 10名

*小規模作業所ふれあいセンター823契約者数 11名（男性 7名、女性 4名）

小規模作業所ふれあいセンター翔契約者数 6名（男性 3名、女性 3名）

*小規模作業所契約者障害程度区分

区分	2	3	4	5	6	未取得
823	0名	0名	0名	0名	11名	0名
翔	0名	0名	0名	0名	7名	0名

③ヘルパーステーションDAI-ふく

居宅介護事業契約者数 8名

移動支援事業契約者数 11名

重度訪問事業契約者数 1名

(2) 利用状況（平成25年3月末現在）

①生活介護事業所利用人数 41名

区分	2	3	4	5	6	合計
月平均利用人数	1名	5名	4名	5名	16名	33名
月平均利用総日数	11日	56日	79日	69日	101日	316日

*生活介護事業所平均開所日数 22日/月

*生活介護事業所開所日平均利用人数 14名/日

②小規模作業所利用人数 18名

作業所名	823	翔	合計
月平均利用人数	10名	6名	16名
月平均利用総日数	54日	34日	88日

*小規模作業所平均開所日数 20日/月

*小規模作業所開所日平均利用人数 823～ 5名/日
翔～ 3名/日

③ヘルパーステーション DAI・ふく

居宅介護事業平均利用回数 11回／月
 移動支援事業平均利用回数 25回／月
 重度訪問事業利用回数 1回／年

(3) 平成 24 年度の活動

月	日	曜	活動内容	月	日	曜	活動内容	
4 月	2	月	新利用者歓迎式 スタッフ打ち合わせ	5 月	8	火	避難訓練	
	14	土	レクリエーション（桜餅作り）		12	土	内部研修	
	19	木	第 10 回リーダー会議		16	水	ふれあいセンター意見交換会	
	23	月	第 13 回スタッフ会議		20	日	はちけんバザー出店	
	28	土	レクリエーション（お買い物）		23	水	O・H・G（おはぎ）意見交換会	
					24	木	第 11 回リーダー会議	
6 月	9	土	レクリエーション（散策&ランチ）	7 月	26	土	レクリエーション（調理）	
	15	金	ペンギンバザー出店		28	月	第 14 回スタッフ会議	
	21	木	第 12 回リーダー会議		2 月	2	月	吉田学園チャリティーコンペ出店
	23	土	全体レクリエーション（運動会）			5	木	内部研修（映画鑑賞）
	25	月	第 15 回スタッフ会議			7	土	おやじの会バザー出店
	28	木	コカ・コーラファンデーご招待			14	土	レクリエーション（調理）
			20	金		第 13 回リーダー会議		
			21	土		トヨタハートフルフェア出店		
8 月	11	土	レクリエーション（工作）	9 月	22	日	トヨタハートフルフェア出店 拓北フェスタ出店 高等盲学校祭出店	
	23	木	第 14 回リーダー会議		23	月	第 16 回スタッフ会議	
	25	土	バスレクリエーション(えこりん村) ユアホームサービス福祉祭り出店		28	土	バスレクリエーション（新千歳空港） ひまわり整肢園夏祭り出店	
	27	月	第 17 回スタッフ会議		8	土	レクリエーション（パン作り）	
10 月	7	日	ふれあいフェスタ	11 月	15	土	バスレクリエーション（小樽水族館） 楡の会秋祭り出店	
	8	月	すし研出店		20	木	第 15 回リーダー会議	
	13	土	レクリエーション（買い物）		24	月	第 18 回スタッフ会議	
	14	日	豊成ふれあいフェスタ出店					
	15	月	虐待防止シンポジウム参加					
	25	木	第 16 回リーダー会議		1	木	研修会（苦情解決）（～2 日まで）	
			3	土	北翔プラザ出店			
			6	火	研修会（虐待防止法について）			
			10	土	レクリエーション（調理） 拓養祭出店			
			16	金	研修会（発達障害について）			

	27	土	レクレーション(ランチバイキング) みなくるフェスティバル出店		21	水	避難訓練
	29	月	第 19 回スタッフ会議		22	木	第 17 回リーダー会議
					23	金	はちけん秋のはあとフェスタ出店
					24	土	レクレーション (DVD 鑑賞)
					26	月	第 20 回スタッフ会議
	1	土	ボランティア展出展		12	土	父母の会成人式
	7	金	真養高等部祭出店				はちけん地区センター出店
	8	土	年末レクレーション		16	水	消防による防災講話
12	11	火	第 18 回リーダー会議	1	18	金	さっされん新年交流会参加
	14	金	講演会参加 (知的障害について)		19	土	内部研修会 (虐待防止法について)
月	17	月	第 21 回スタッフ会議	月	22	火	研修会 (居宅事業所管理者研修)
	20	木	徳生寺音楽会参加		24	木	第 19 回リーダー会議
	22	土	レクレーション (クリスマス)		26	土	レクレーション (雪遊び)
					28	月	第 22 回スタッフ会議
	4	月	医大生実習 (~8 日まで)		4	月	ふれあい意見交換会 (~8 日ま
	5	火	保護者会 (O・H・G)		5	火	で)
	9	土	レクレーション (お菓子作り)		17	日	O・H・G 意見交換会
2	12	火	保護者会 (823)	3	18	月	研修会 (重度障害者の虐待防止)
	18	月	保護者会 (翔)	月	23	土	第 24 回スタッフ会議
月	19	火	ドライバー打ち合わせ				レクレーション (自分磨き)
	21	木	第 20 回リーダー会議				研修会 (相談支援事業について)
	23	土	レクレーション (買い物)				
	25	月	第 23 回スタッフ会議				
	28	木	研修会(重症児の姿勢維持について)				

* この他に、毎週月曜日には O・H・G (おはぎ) で、毎週水曜日にはふれあいセンターでケア会議を実施。

また、外部でのケア会議にも積極的に参加。(現在 5 名の利用者に対応)

※日中活動について

作業に関しては、利用者の身体の状態を見ながら、作業量を調整するように配慮している。また、作業のみではなく、利用者同士の関わりや職員との関わりを楽しむ場面も作るようにしている。特に、昼休みなどには、同じ趣味を持っている利用者同士が集まって会話を楽しむ様子も毎日のように見受けられている。

ただ、今までの流れの中で、作業を重視している利用者の方も多いため、バランスを取りながら日中活動を進めるよう配慮している。

毎日午前と午後の活動内容を 3 種類程度に分け、利用者が希望する活動に参加してもらうようにしている。

また、利用者の身体状況を考え、昼休みや午後の活動の中で、車いすから降りて横になる時間を作ることも行っている。

なるべく現状の機能を維持していただきたいので、その日の利用者の体調を考慮しながら、自分で行えることは時間をかけてでも行ってもらうように心がけながら支援をしているが、頑張り

すぎてしまう利用者の方もいるため、職員からの声掛けによって休憩を取ったり、違う作業に参加してもらうなどで気分を変えてもらうようにしている。

活動場所が限られているため、作業とカラオケ、ラッピングなどを同じ空間で行っており、静かな環境を求めている利用者の方もいるため、集中できる環境を作ることが課題となっている。

土曜日のレクリエーションに関して、バラエティーに富んだ内容にしており、外出する機会もあることから、参加者は増加している。特に、調理を伴うレク、外出するレクには参加希望が多くなっている。

今年度はバスレクリエーションを企画、7～9月の土曜レクリエーション6回のうち3回実施し、事前のアンケートで参加者を決め、延べ36名が参加した。

また、今年度の最後の土曜レクリエーションで、初めて外部の方に指導をお願いして実施したところ、利用者に変えて好評であったことから、今後も実施に向け考えたい。

※作業内容の見直し

年々新しく通所される利用者の障がい重度となってきたことを踏まえるとともに、現利用者の作業状況を考え、作業内容を今まで作っていた縫い物製品の中から、利用者が作りやすいものを中心に厳選した。

新しい製品としては、今までの製品の作り方を活かしてできるものを検討中。

また、誰でも作業に参加できる新しい製品として、アロマボム（入浴剤）、ポンポン、芳香剤作り等を取り入れることとした。

※入浴、送迎、給食について

入浴に関しては、個人個人の希望に合わせた入浴介助を基本とし、他の利用者の方とのコミュニケーションを楽しみながらゆったりと入浴していただいている。

利用希望者が増えてきているため、今年度の週4日（月・火・木・金）の実施を次年度からは週5日に増やすことにしている。

送迎に関しては、今年度の冬期の積雪量の多さや道路事情の悪さで、時間が大幅に遅れることがあったが、事前に各ご家庭に15分程度の遅れがありうる旨をお伝えしたうえで、それ以上の遅れには、必ず連絡を取り対応した。市内全域の送迎をおこなっていることもあり、利用者の方からは概ね理解を得られていると考えている。

また、今年度6月から、送迎車を2台リースで増車したが、ほとんどの利用者の方が送迎を利用していること、市内全域の送迎を行っていることなどから、まだ送迎車が不足している状況にある。さらに、送迎車の運転業務に携わる職員も不足しており、運転業務に携わることのできる職員も増やす必要がある。

〈参考〉地域別利用者数

区	東区	西区	南区	北区	中央区	厚別区	清田区	手稲区	白石区	豊平区
人数	3名	4名	7名	4名	3名	2名	1名	9名	6名	3名

給食に関しては、前年度同様週3日（月・水・木）の実施とした。保護者からは毎日の実施を希望する声も上がっているが、給食を実施していない火曜日と金曜日にお弁当屋さんに来ており、そこでのやり取りが非常に利用者の方にとって楽しい時間となっており、社会との接点ともなっているため、今後もこのままで続けたい。

※地域との連携について

今年度初めて、当法人のお祭りである「ふれあいフェスタ」のオープニングに、日新小学校のバトン少年団をお招きした。このことにより、父兄の方々や地域の皆さんなど多くの方が「ふれ

あいフェスタ」に来ていただき、当事業所を理解していただく機会となった。

また、地域にある徳生寺さんが開催している音楽会にお招きいただき、利用者の方々が参加させていただいている。そのご縁で、作業に必要な毛布などを集めているポスターを掲示していただく機会を得るとともに、地域の方が持って来て下さった折に事業所をご覧いただき、知っていただくなど地域との連携に広がりを見せてきている。

今後もこのような繋がりを大切にしていきたい。

(4) 実習等の受け入れ

O・H・G（おはぎ）、ふれあいセンター823、ふれあいセンター翔において、拓北養護学校、真駒内養護学校、星置養護学校、岩見沢高等養護学校から実習生を、延べ10名受け入れた。

この他に、生徒、教員、他施設入所者などの見学や体験などの受け入れも行った。

また、次年度利用開始予定している方々の引き継ぎを、利用者、保護者、及び教員とともに3月中に1日通所していただく中で行った。双方にとって非常に有意義で、保護者の方にとっては、通所に向けて安心感を得ていただける体験になったと考える。

さらに、札幌医科大学の作業療法科の学生2名の実習も1週間にわたって受け入れた。なおこの実習に関しては、カリキュラム変更により今年度で終了となる予定である。

(5) ヒヤリハット件数

*ヒヤリハット総数 11件

*ヒヤリハット月別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室・脱衣所	1		1	1								1	4
トイレ													0
作業所内		1			1	1		2					5
玄関・駐車場								1	1				2
合計	1	1	1	1	1	1	0	3	1	0	0	1	11

* 施設内での転倒防止、玄関前での迎えや送りの時の事故防止、入浴時・排せつ時の事故防止に努め、特に配慮を要する利用者への見守りや支援を、職員間で情報共有、共通理解を再度図った。また、毎月行うスタッフ会議で確認を行い、指導をしている。

(6) 苦情、事故件数

*要望・意見件数 4件

内容は、作業環境の改善に関するものであった。利用者の増加、障がいの多様化などに起因する作業スペース狭隘であり、間仕切りや時間配分の調整などにより対応しているが、未解消事由については、今後検討していく旨回答している。

*苦情件数 1件

札幌市の保健福祉課へ電話による苦情が寄せられたとの連絡があった。

内容は、活動中に職員が利用者と一緒にお菓子を食べたりしている様子が目に余るとのことであったが、職員への聞き取りなどでは事実関係を確認できなかった。

職員へ苦情内容を周知し、注意喚起している。

*事故件数 4件

全て送迎車両であり、利用者及び職員のケガなどの事故はありません。

- ・送迎準備時に、当施設駐車場内においての自損事故（ハイエース）
- ・送迎時の利用者宅前において、路上駐車車両との接触事故（ボンゴ）

- ・送迎時に、利用者宅車庫入口上部と接触事故（トッポ）
- ・送迎時に、利用者降車後にリフト操作不能となる事故（ボンゴ）

（7）安否確認事例

*安否確認事例 1件

6月28日（木）の外出行事の際に、参加予定だった利用者が集合時間になっても現れず、自宅へ確認に行ったところ、保護者が居室内で倒れているのを発見し、救急車の手配、病院への付き添い、相談支援事業所への連絡等を、法人内部のマニュアルに沿って行い、利用者はショートステイし、保護者は入院には至らず自宅療養となった。

今回に限らず、こまめな連絡、確認を行うことを当法人の基本姿勢として行う。

また、安否確認の際には、家主や近所の住民、相談支援事業所等との連携が不可欠なため、日頃から情報を得るようにし、連絡を取ることでできるところとは情報交換を行うようにする。

（8）売り上げ及び工賃支払状況

①売り上げの状況と工賃の支払い状況(生活介護事業所「O・H・G（おはぎ）」)

月	売り上げ額	工賃支払額	残 額	材 料 費	残 額
4 月	27,150	48,800	△21,650	7,764	△29,414
5 月	40,205	56,600	△16,395	3,960	△20,355
6 月	35,005	54,800	△19,795	48,522	△68,317
7 月	158,087	55,400	102,687	14,360	88,327
8 月	21,620	48,800	△27,180	7,470	△34,650
9 月	52,555	47,400	5,155	8,910	△3,755
10 月	59,760	54,800	4,960	13,691	△8,731
11 月	32,262	52,800	△20,538	61,766	△82,304
12 月	154,395	47,200	107,195	13,915	93,280
1 月	33,801	48,400	△14,599	2,520	△17,119
2 月	16,170	50,000	△33,830	3,465	△37,295
3 月	23,530	49,800	△26,270	69,915	△96,185
合 計	654,540	614,800	39,740	256,258	△216,518

* 毎年7月に吉田学園からチャリティー販売の製品（30セット程度）の注文が、12月には札幌市身体障害者福祉協会より障害者の日の配布製品（700個）の注文がある。

また、札幌市の元気ショップへの製品の委託も行っており、1～2か月に1回程度の注文が来ている。

* 利用者の障害の幅が広がり作業の効率が悪くなっており、前年度よりも生産性が落ちていることと、近年の経済情勢の悪化で売上額は減少している。

前年度は、作業に対して意欲的ではない利用者もいたため、工賃体系を2体系とし工賃の支払いを行ったが、利用者の重度化や生活介護事業の中での生きがい活動でもあることを考え、今年度からは1日の工賃額を300円から200円に下げ、工賃の額を一律にすることとした。

今後も売上額が減少していくこと、利用者が増えていくことが考えられるため、工賃の支払い額は増加していくと考えられるが、材料費を生活介護事業活動の消耗品費ととらえ、工賃は売上額全額を利用者に配分するという考えのもとで行っていきたい。

②売り上げの状況と工賃の支払い状況(ふれあいセンター823・翔)

月	売り上げ額	工賃支払額	残 額	材 料 費	残 額
4 月	16,011	0	16,011	0	16,011
5 月	20,950	0	20,950	17,766	3,184
6 月	16,090	0	16,090	8,542	7,548
7 月	80,336	0	80,336	82,001	△1,665
8 月	16,270	0	16,270	2,758	13,512
9 月	38,610	0	38,610	0	38,610
10 月	31,790	0	31,790	1,919	29,871
11 月	32,260	60,000	△27,740	53,627	△81,367
12 月	52,830	0	52,830	0	52,830
1 月	23,120	0	23,120	3,749	19,371
2 月	14,020	0	14,020	10,711	3,309
3 月	13,360	43,700	△30,340	77,179	△107,519
合 計	355,647	103,700	251,947	258,252	△6,305

* 毎年7月に吉田学園からチャリティー販売の製品(30セット程度)の注文が、12月には札幌市身体障害者福祉協会より障害者の日の配布製品(300個)の注文がある。

また、札幌市の元気ショップへの製品の委託も行っており、1~2か月に1回程度の注文が来ている。

* 利用者の1か月の通所日数が少ないため、毎月の工賃の支払いではなく、前年度同様前期、後期の2回に分け支払うこととした。